





Job Arranger

インストールガイド



変更履歴

| 版数 | 変更日付 | · 内容 | |
|-----|------------|---|--|
| 初版 | 2012/12/28 | 初版発行 | |
| 第2版 | 2013/03/15 | 「表 4-1 jobarg_agentd.conf パラメータ一覧」「表 4-6 jobarg_agentd.conf | |
| | | パラメーター覧」「表 4-8 jobarg_agentd.conf パラメーター覧」に | |
| | | JaFcopyTimeout のパラメータを追加。 | |
| 第3版 | 2013/04/01 | 「6 アップグレード」を追加。 | |
| 第4版 | 2012/04/04 | - 「3.6 ジョブマネージャ」に「Job Arranger Manager View」の説明ならび | |
| | 2013/04/04 | インストールについて追記。 | |
| 第5版 | 2012/04/12 | 「3.1.2 jobarg-server インストール」「3.3.1 jobarg-agentd インストール」 | |
| | 2013/04/12 | に libtar のインストールについて追記。 | |
| 第6版 | 2013/04/22 | 「6.2 バージョン 1.2.0 から 1.2.1 へのアップグレード」を追記。 | |
| | 1 | | |







| 1 | システム | 」構成2 |
|---|--------|--------------------------|
| 2 | システム | 公要件 |
| | 2.1 ジョ | ョブサーバー |
| | 2.1.1 | 対応 OS 一覧 |
| | 2.1.2 | ハードウェア要件 |
| | 2.1.3 | ソフトウェア要件3 |
| | 2.2 ジョ | ョブエージェント |
| | 2.2.1 | 対応 OS 一覧4 |
| | 2.2.2 | ハードウェア要件4 |
| | 2.2.3 | ソフトウェア要件4 |
| | 2.3 ジョ | ョブマネージャ |
| | 2.3.1 | 対応 OS 一覧5 |
| | 2.3.2 | ハードウェア要件5 |
| | 2.3.3 | ソフトウェア要件5 |
| 3 | インス | トール |
| | 3.1 ジョ | ョブサーバー(ソースコード) |
| | 3.1.1 | ソースコードの取得6 |
| | 3.1.2 | jobarg-server インストール7 |
| | 3.2 ジョ | ョブサーバー(RPM)8 |
| | 3.2.1 | RPM の取得 |
| | 3.2.2 | jobarg-server インストール8 |
| | 3.3 ジョ | ョブエージェント(UNIX 版/ソースコード)9 |
| | 3.3.1 | jobarg-agentd インストール9 |
| | 3.4 ジ≣ | ョブエージェント(UNIX 版/RPM)10 |
| | 3.4.1 | RPM の取得10 |
| | 3.4.2 | jobarg-agentd インストール10 |
| | 3.5 ジョ | ョブエージェント(Windows 版)11 |

Copyright (C) Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved

| | | 和総研ビジネス・イノベーション |
|--------|---|-----------------|
| 3.5.1 | Installerの取得 | |
| 3.5.2 | Installer の実行 | |
| 3.6 ジョ | ョブマネージャ | |
| 3.6.1 | Installer の取得 | |
| 3.6.2 | Installer の実行 | |
| 4 実行環境 | 境セットアップ | |
| 4.1 ジョ | ョブサーバー | |
| 4.1.1 | データベースへの初期データ登録 | |
| 4.1.2 | jobarg_server.confの設定 | |
| 4.1.3 | 自動起動設定 | |
| 4.1.4 | jasender.shの設定 | |
| 4.2 ジョ | ョブエージェント(UNIX 版) | |
| 4.2.1 | jobarg_agentd.confの設定 | |
| 4.2.2 | Firewallの設定 | |
| 4.2.3 | 自動起動設定 | |
| 4.3 ジョ | ョブエージェント(Windows 版) | |
| 4.3.1 | jobarg_agentd.confの設定 | |
| 4.3.2 | Firewallの設定 | |
| 4.3.3 | ジョブエージェントの起動 | |
| 4.4 ジョ | ョブマネージャ | |
| 4.4.1 | ODBC 設定 | |
| 4.4.2 | jobarg_manager.confの編集 | |
| 4.4.3 | ジョブマネージャ起動 | |
| 5 アンイン | ンストール | |
| 5.1 ジョ | ョブサーバー(ソースコード) | |
| 5.2 ジョ | ョブサーバー(RPM) | |
| 5.3 ジョ | ョブエージェント(UNIX 版/ソースコード) | |
| 5.4 ジ= | ョブエージェント(UNIX 版/RPM) | 50 |
| 55 2%- | - ニージェント(Windows 版) | E1 |
| | \neg \neg \neg \neg \sim \sim | |
| 5.6 ジヨ | ヨノマイーンヤ | |

Copyright (C) Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd. All Rights Reserved



| CERTIFIED PARTNER | Relea Institute of Research Business Innumities |
|------------------------------------|---|
| 6 アップグレード | |
| 6.1 バージョン 1.0.0 から 1.2.0 へのアップグレード | |
| 6.1.1 ジョブサーバ(ソースコード) | |
| 6.1.2 ジョブサーバ(RPM) | |
| 6.1.3 ジョブエージェント(UNIX 版/ソースコード) | |
| 6.1.4 ジョブエージェント(UNIX 版/RPM) | |
| 6.1.5 ジョブエージェント(Windows 版) | |
| 6.1.6 ジョブマネージャ | |
| 6.2 バージョン 1.2.0 から 1.2.1 へのアップグレード | |
| 6.2.1 ジョブサーバ(ソースコード) | |
| 6.2.2 ジョブサーバ(RPM) | |
| 6.2.3 ジョブエージェント(UNIX 版/ソースコード) | |
| 6.2.4 ジョブエージェント(UNIX 版/RPM) | |
| 6.2.5 ジョブエージェント(Windows 版) | |
| 6.2.6 ジョブマネージャ | |

大和総研ビジネス・イノベーション



はじめに

このインストールガイドは、Job Arranger を利用する人をサポートする目的で配布されますが、市場性または特定 目的に対する適合性を含むいかなる保証も一切行うものではありません。このインストールガイドは Job Arranger ソフトウェアの一部として配布されます。

最新版は https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository から入 手できます。

Job Arranger インストールガイドは、GPL ライセンスではなく、以下の条項に従って配布および利用するものとします。

- ・ 他の形式に翻訳および変換することは許可されますが、いかなる方法によっても内容を変更または編集すること は禁じられています。
- ・ 個人で使用する場合は印刷物の作成が許可されます。
- ・ その他の利用目的、たとえば印刷物を販売する場合または別の出版物(印刷物または電子的)でこのインストール ガイド(の一部)を引用する場合は、Fitechforce 社からの事前の書面による合意が必要です。

The Job Arranger Manual is not released under GPL. Use of the Manual is a subject to the following terms:

conversions to other formats is allowed, but the actual content may not be altered or edited in any way you may create a printed copy for your personal use for all other uses, such as selling printed copies or using (parts of) the Manual in another publication, prior written agreement from FitechForce Company is required



1 システム構成

Job Arranger は、以下の3つのコンポーネントから構成されています。

■ ジョブサーバー

ジョブの実行管理を行うサーバです。データベース上に保持しているジョブネットやスケジュール、カレンダ ーの情報を基に、各ジョブエージェントに対して、ジョブの操作指示を行っています。 Zabbix のデータベースを使用することにより、ホストやユーザ、アクセス権限情報を共有しています。

■ ジョブエージェント

ジョブの実行を行うサーバです。ジョブエージェントはジョブサーバーから受けた指示を実行し、その結果を 返します。

SQLite を使用することにより、Agent 再起動時など、ジャーナルファイルから Job の実行状態を最新の状態に 回復できるようにしています。

■ ジョブマネージャ

ジョブネットの編集やジョブ稼働状況の確認を行うためのクライアント端末です。この機能は GUI ベースの Windows アプリケーションにて提供します。

Zabbix のデータベースを使用することにより、ホストやユーザ、アクセス権限情報を共有しています。



図 1-1 Job Arranger システム構成



2 システム要件

各コンポーネントに必要な要件を説明します。

2.1 ジョブサーバー

2.1.1 対応 OS 一覧

ジョブサーバーの対応しているプラットフォームは以下の通りです。

表 2-1 対応 OS 一覧

| 対応 OS | バージョン |
|-------|---------------------------------|
| Linux | Red Hat Enterprise Linux 5.x 以降 |
| | CentOS 5.x 以降 |

2.1.2 ハードウェア要件

ジョブサーバーを稼働させるために必要なハードウェア要件は以下の通りです。

表 2-2 ハードウェア要件

| 項目 | ースペック |
|-----|-------------|
| CPU | Pentium4 以降 |
| メモリ | 30MB 以上 |
| HDD | 4GB以上 |

2.1.3 ソフトウェア要件

ジョブサーバーを稼働させるために必要なソフトウェア要件は以下の通りです。

表 2-3 ソフトウェア要件

| ソフトウェア | バージョン |
|------------|--------|
| Zabbix | 1.8.x |
| MySQL | 5.0 以降 |
| PostgreSQL | 9.2 以降 |



2.2 ジョブエージェント

2.2.1 対応 OS 一覧

ジョブエージェントの対応しているプラットフォームは以下の通りです。

表 2-4 対応 OS 一覧

| 対応 OS | バージョン |
|---------|---------------------------------|
| Linux | Red Hat Enterprise Linux 5.x 以降 |
| | CentOS 5.x 以降 |
| Windows | Microsoft Windows 2003 |
| | Microsoft Windows 2008 SP2 以降 |
| | Microsoft Windows 2008 R2 |

2.2.2 ハードウェア要件

ジョブエージェントを稼働させるために必要なハードウェア要件は以下の通りです。

表 2-5 ハードウェア要件

| 項目 | スペック |
|-----|---------|
| CPU | 特別な要件無し |
| メモリ | 20MB以上 |
| HDD | 40MB以上 |

2.2.3 ソフトウェア要件

特に無し



2.3 ジョブマネージャ

2.3.1 対応 OS 一覧

ジョブマネージャの対応しているプラットフォームは以下の通りです。

表 2-6 対応 OS 一覧

| 対応 OS | バージョン |
|---------|-----------------------------|
| Windows | Microsoft Windows XP SP3 以降 |

2.3.2 ハードウェア要件

ジョブマネージャを稼働させるためのハードウェア要件は以下の通りです。

表 2-7 ハードウェア要件

| 項目 | スペック |
|-----|-----------|
| CPU | Core 2 以降 |
| メモリ | 512MB以上 |
| HDD | 20MB以上 |

2.3.3 ソフトウェア要件

ジョブマネージャを稼働させるためのソフトウェア要件は以下の通りです。

表 2-8 ソフトウェア要件

| 項目 | バージョン |
|------------------------|-------|
| MySQL Connector/ODBC | 5.1 |
| PostgreSQL ODBC Driver | 9.1 |
| .NET Framework | 4 |



インストール 3

本章では各コンポーネントのインストール方法について説明します。 ※前提として、Zabbixのセットアップが完了していることとします。

3.1 ジョブサーバー(ソースコード)

ジョブサーバのインストール方法として、「ソースコード」と「RPM」からの二種類があります。 本章では「ソースコード」からのインストール方法について説明します。

3.1.1 ソースコードの取得

Job Arranger のソースコードを下記の URL よりダウンロードして展開します。

```
# cd /usr/local/src
# wget
https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository/raw/*.*.*/job
arranger-src-*.*.*.zip
# unzip jobarranger-src-*.*.*.zip
```



3.1.2 jobarg-server インストール

前提として、son-C/libtar のインストールが完了していることとします。 以下のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。 【json】 <u>http://oss.metaparadigm.com/json-c/</u> 【libtar】 http://www.feep.net/libtar/

- 1. コンパイルの準備を行います。
 - ■MySQL の場合

```
# cd jobarranger-*.*.*
```

- # ./configure --enable-server --with-mysql --with-json=XXXX
- ※「XXXX」にはライブラリがインストールされているディレクトリを指定します。

■ PostgreSQL の場合

- # cd jobarranger-*.*.*
- # ./configure --enable-server --with-postgresql --with-json=XXXX
- 2. コンパイルを実行して、インストールします。

```
# make
# make install
```

デフォルトでは、全てのファイルが/usr/local 配下にインストールされます。変更したい場合は、configure のオプションで--prefix を使用し、任意の場所を指定して実行してください。

表 3-1 オプション一覧

| オプション名 | 説明 |
|-----------------|------------------------------------|
| enable-server | ジョブサーバーのバイナリをコンパイルします。 |
| with-mysql | ジョブサーバーのデータベースに MySQL を指定します。 |
| with-postgresql | ジョブサーバーのデータベースに PostgreSQL を指定します。 |
| with-json | ジョブサーバで JSON を利用する場合に指定します。 |
| prefix=対象ディレクトリ | 指定されたディレクトリにインストールをします。 |



3.2 ジョブサーバー(RPM)

ジョブサーバのインストール方法として、「ソースコード」と「RPM」からの二種類があります。 本章では「RPM」からのインストール方法について説明します。

3.2.1 RPM の取得

任意のフォルダに環境に応じた Job Arranger の RPM を下記の URL よりダウンロードします。

■ MySQL の場合

wget

https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository/raw/*.*.*/ jobarg_server/jobarranger-server-mysql-*.*.*-*.<各OS名>.<アーキテクチャ>.rpm

■ PostgreSQL の場合

wget

https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository/raw/*.*.*/ jobarg_server/jobarranger-server-postgesql-*.*.*-*.<各OS名>.<アーキテクチャ>.rpm

3.2.2 jobarg-server インストール

サイトよりダウンロードした RPM をインストールします。

■ MySQL の場合

rpm -ivh jobarranger-server-mysql-*.*.*-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm

■ PostgreSQL の場合

rpm -ivh jobarranger-server-postgresql-*.*.*-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm



3.3 ジョブエージェント(UNIX 版/ソースコード)

ジョブサーバのインストール方法として、「ソースコード」と「RPM」からの二種類があります。 本章では「ソースコード」からのインストール方法について説明します。 ※ソースコードの取得については「3.1.1 ソースコードの取得」を参照下さい。

3.3.1 jobarg-agentd インストール

前提として、sqlite3/json-C/libtar のインストールが完了していることとします。

以下のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

- [sqlite3] http://www.sqlite.org/
- [json] http://oss.metaparadigm.com/json-c/
- (libtar) http://www.feep.net/libtar/
- 1. コンパイルの準備を行います。

./configure --enable-agent --with-sqlite3=XXXX --with-json=XXXX

※「XXXX」にはライブラリがインストールされているディレクトリを指定します。

2. コンパイルを実行して、インストールします。

make

make install

デフォルトでは、全てのファイルが/usr/local 配下にインストールされます。変更したい場合は、configure のオプ ションで--prefix を使用し、任意の場所を指定して実行してください。

表 3-2 オプション一覧

| オプション名 | , 説明 |
|-----------------|----------------------------------|
| enable-agent | ジョブエージェントのバイナリをコンパイルします。 |
| with-sqlite3 | ジョブエージェントのデータベースに SQLite を指定します。 |
| with-json | ジョブエージェントで JSON を利用する場合に指定します。 |
| prefix=対象ディレクトリ | 指定されたディレクトリにインストールをします。 |

※server と agent を同時にコンパイルすることも可能です。

```
# ./configure --enable-server --with-mysql --enable-agent
--with-sqlite3=XXXX --with-json=XXXX
# make
# make
# make install
```



3.4 ジョブエージェント(UNIX版/RPM)

ジョブエージェントのインストール方法として、「ソースコード」と「RPM」からの二種類があります。 本章では「RPM」からのインストール方法について説明します。

3.4.1 RPM の取得

任意のフォルダに環境に応じた Job Arranger の RPM を下記の URL よりダウンロードします。

wget

https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository/raw/*.*.*/ jobarg_agent/jobarranger-agentd-*.*.*-*.<各OS名>.<アーキテクチャ>.rpm

3.4.2 jobarg-agentd インストール

サイトよりダウンロードした RPM をインストールします。

rpm -ivh jobarranger-agentd-*.*.*-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm



3.5 ジョブエージェント(Windows 版)

3.5.1 Installerの取得

ジョブエージェントの Installer を以下の URL よりダウンロードします。

【ダウンロードサイト】

■32bit 版

https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository/show/*.*.*/jo barg_agent/Win32

■64bit 版

https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository/show/*.*.*/jo barg_agent/x64

【対象ファイル】

- Job Arranger Agent.msi
- \cdot setup.exe



3.5.2 Installerの実行

Installer を以下の通り実行し、ジョブエージェントをインストールします。 なお、Installer の実行には administrator 権限が必要となります。

- 1. ダウンロードした Installer をダブルクリックし、起動します。
- 2. Job Arranger Agentd セットアップウィザードが起動されたら、「次へ」ボタンを押下します。

| 🙀 Job Arranger Agentd | |
|---|------------------|
| Job Arranger Agentd セットアップ ウィザードへようこそ | |
| インストーラーは Job Arranger Agentd をインストールするために必要な手順を示 | します。 |
| この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製 または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となり 注意ください。 | 品の全部 ますのでご |
| キャンセル 〈 戻る(B) | 次へ(<u>N</u>) > |

図 3-1 Job Arranger Agentd セットアップ画面



3. ジョブエージェントのインストールフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押下します。

| 🙀 Job Arranger Agentd | |
|---|-----------------------------|
| インストール フォルダーの選択 | |
| インストーラーは次のフォルダーへ Job Arranger Agentd をインストール このフォルダーにインストールするには[)次へ]をクリックしてください。別の トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。 フォルダー(E): C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Agentd¥ | します。 のフォルダーにインス 参照(R) |
| | ディスク領域(<u>D</u>) |
| キャンセル < 戻る(B) | 次へ <u>№</u> > |

図 3-2 インストールフォルダの選択



4. 「次へ」ボタンを押下すると、インストールが開始されます。

| 🛃 Job Arranger Agentd | |
|--|--------|
| インストールの確認 | |
| Job Arranger Agentd をインストールする準備ができました。 [)女へ]をクリックしてインストールを開始してください。 | |
| キャンセル く 戻る(B) | 次へ(№)> |

図 3-3 インストールの確認



5. インストールが完了しましたら、下記の画面が表示されますので、「閉じる」ボタンを押下します。



図 3-4 インストール完了画面

インストール後、サービスヘジョブエージェントが自動登録されます。 また、スタートメニューにジョブエージェントの起動と停止ショートカットが作成されます。



3.6 ジョブマネージャ

ジョブマネージャには各オブジェクトの作成・実行等の管理を含む全機能を使用できる「Job Arranger Manager」 と各オブジェクトやジョブ実行状況の参照のみできる「Job Arranger Manager View」という二つのパッケージが存 在します。なお、セットアップ(「4.4 ジョブマネージャ」参照)ならびにアンインストール(「5.6 ジョブマネージャ」 参照)は両パッケージとも同様の方法になります。

本章では両パッケージのインストール方法について説明します。

3.6.1 Installerの取得

ジョブマネージャの Installer を以下の URL よりダウンロードします。

【ダウンロードサイト】

https://oss-support.fitechforce.co.jp/redmine/projects/job-arranger-for-zabbix/repository/show/*.*.*/jo barg_manager

【対象ファイル】

• Job Arranger Manager.msi

 \cdot setup.exe

また、以下の作業が完了していることが前提条件となります。

- NTP による時刻同期が設定されていること
- データベースに Job Arranger テーブルが追加されていること([5.1.1 データベースへの初期データ登録]参照)
- ODBC Driver がインストールされていること
- 既に旧バージョンがインストールされている場合は、事前にアンインストールを行っていること
- 「Job Arranger Manager」⇔「Job Arranger Manager View」の切り替えを行う際は、事前に既にインスト
 ールされているパッケージのアンインストールを行っていること

【ダウンロードサイト】

MySQL Connector/ODBC : http://dev.mysql.com/downloads/

PostgreSQL ODBC Driver : http://www.postgresql.org/ftp/odbc/versions/msi/



3.6.2 Installerの実行

Installer を以下の通り実行し、ジョブマネージャをインストールします。

- 1. ダウンロードした Installer をダブルクリックし、起動します。
- 2. Job Arranger Manager セットアップウィザードが起動されたら、「次へ」ボタンを押下します。

| 🛃 Job Arranger Manager | |
|--|-------------------------|
| Job Arranger Manager セットアップ ウィザードへようこ そ | |
| インストーラーは Job Arranger Manager をインストールするために必要な手順を この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となり 注意ください。 | 示します。 料品の全部 ますのでご |
| キャンセル く戻る(B) | 次へ(10) > |

図 3-5 Job Arranger Manager セットアップ画面



3. インストールしたいパッケージを選択し、「次へ」ボタンを押下します。

| 🛃 Job Arranger Manager | | |
|-------------------------------|-------------------------|-------------------|
| Job Arranger Manager | | |
| Select one package | | |
| ⊙ Job Arranger Manager | | |
| 🔾 Job Arranger Manager Viewer | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | キャンセル 〈戻る(<u>B</u>) 〉 | <u>☆へ(N) ></u> |

図 3-6 インストールパッケージの選択



4. ジョブマネージャのインストールフォルダを指定し、「次へ」ボタンを押下します。

| 🛃 Job Arranger Manager | |
|--|--------------------------------------|
| インストール フォルダーの選択 | |
| インストーラーは次のフォルダーへ Job Arranger Manager をインストー, このフォルダーにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別の トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。 フォルダー(E): | いします。 カフォルダーにインス |
| C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Manager¥ | 参照(<u>B</u>) ディスク領域(<u>D</u>) |
| Job Arranger Manager を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用 〇 すべてのユーザー(E) | にインストールします: |
| ●このユーサーのみ(M) キャンセル < 戻る(B) |) 次へ(<u>N</u>)> |

図 3-7 インストールフォルダの選択



5. 「次へ」ボタンを押下すると、インストールが開始されます。

| 🛃 Job Arranger Manager | |
|---|------|
| インストールの確認 | |
| Job Arranger Manager をインストールする準備ができました。 [)なへ]をクリックしてインストールを開始してください。 | |
| キャンセル < 戻る(B) | 次へ№> |

図 3-8 インストールの確認



6. インストールが完了しましたら、下記の画面が表示されますので、「閉じる」ボタンを押下します。



図 3-9 インストール完了画面



4 実行環境セットアップ

本章では各コンポーネントのセットアップについて説明します。

4.1 ジョブサーバー

4.1.1 データベースへの初期データ登録

Zabbix データベースに Job Arranger の初期データをインポートします。

<ソースコードインストールの場合>

■ MySQL の場合

cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/mysql

cat MySQL_JA_CREATE_TABLE.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>

cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/data

- # cat JA_INSERT_TABLE.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>
- # cat JA_INSERT_TABLE_JP_UTF-8.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>

■ PostgreSQL の場合

- # cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/potgresql
- # cat PostgreSQL_JA_CREATE_TABLE.sql | psql -U<username> <zabbix データベース名>

cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/data

- # cat JA_INSERT_TABLE.sql | psql -U<username> <zabbix データベース名>
- # cat JA_INSERT_TABLE_JP_UTF-8.sql | psql -U<username> <zabbix データベース名>

<RPM インストールの場合>

■MySQL の場合

- # cd /usr/share/doc/jobarranger-server-mysql-*.*.*/database/mysql
- # cat MySQL_JA_CREATE_TABLE.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>
- # cd /usr/share/doc/jobarranger-server-mysql-*.*.*/database /data
- # cat JA_INSERT_TABLE.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>
- # cat JA_INSERT_TABLE_JP_UTF-8.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>

■ PostgreSQL の場合

cd /usr/share/doc/jobarranger-server-postgresql-*.*.*/database/postgresql

cat cat PostgreSQL_JA_CREATE_TABLE.sql | psql -U<username> <zabbix データベース名>

- # cd /usr/share/doc/jobarranger-server-postgresql -*.*.*/database /data
- # cat JA_INSERT_TABLE.sql | psql -U<username> <zabbix データベース名>
- # cat JA_INSERT_TABLE_JP_UTF-8.sql | psql -U<username> <zabbix データベース名>



4.1.2 jobarg_server.confの設定

/etc/jobarranger/jobarg_server.confを環境に合わせて設定をします。

「Include」の設定を行うことで、zabbix_server.conf で設定しているパラメータを jobarg_server.conf で使用する ことができます。必要に応じて、パラメータの追加や上書きを行ってください。

表 4-1 jobarg_server.conf パラメーター覧

| パラメータ | 必須 | 初期値 | 説明 |
|----------------|-------------|----------------------|---------------------------------|
| Include | × | ※コメントアウトされています。 | zabbix_server.conf を指定してください。 |
| | l l | | これを指定することにより、 |
| | 1 | | zabbix_server.confの情報を取り込み |
| | i I | | jobarg-server.conf で使用することが出来 |
| | 1 | | ます。 |
| TmpDir | × | /var/tmp/jobarranger | 拡張ジョブアイコンの出カー時ファイル(実 |
| | i i | ※コメントアウトされています。 | 行コマンドファイルや標準出力ファイル等) |
| | i I | | を格納するテンポラリディレクトリの場所 |
| | 1 | | を設定してください。 |
| DBHost | × | Localhost | データベースが localhost 以外の場合はコメ |
| | l l | ※コメントアウトされています。 | ントを外して設定してください。 |
| DBName | 0 | | 使用するデータベース名を設定してくださ |
| | i I I | | い。 |
| DBShema | × | ※コメントアウトされています。 | 設定不要。 |
| DBUser | × | | 使用するデータベース接続ユーザ名を設定 |
| | l I | | してください。 |
| DBpassword | × | | 使用するデータベース接続ユーザのパスワ |
| | | | ードを設定してください。 |
| DBSocket | × | /tmp/mysql.sock | MySQL の接続にソケットを使用する場合は |
| | 1 | ※コメントアウトされています。 | コメントを外して設定してください。 |
| DBPort | × | 3306 | データベースポートを設定してください。 |
| | l I | ※コメントアウトされています。 | ローカルソケットの場合データベースポー |
| | 1 | | トは使用されません。 |
| LogSlowQueries | × | 0 | クエリが指定したミリ秒以上要した場合に |
| | 1 | ※コメントアウトされています。 | ログファイルにクエリを出力します。 |
| ListenIP | × | 0.0.0.0 | trapper が listen する IP アドレスをカンマ |
| | | ※コメントアウトされています。 | 区切りで設定してください。 |
| | 1 | | 設定が存在しない場合、全ネットワークイン |
| | | | タフェースで待ち受けます。 |



大和総研ビジネス・イノベーション

| SourceIP | × | ※コメントアウトされています。 | 接続に使用するソース IP アドレスを設定し |
|-------------------|---|--|----------------------------------|
| | | | てください。 |
| Timeout | × | 3 (秒) | エージェント、外部チェックのタイムアウト |
| | | ※コメントアウトされています。 | を設定してください。 |
| | | | 範囲[1-30] |
| DebugLevel | × | 3 | デバックの出力レベルを設定してください。 |
| | | | 0 - 出力なし |
| | | | 1 - クリティカル情報 |
| | | | 2 - エラー情報 |
| | | | 3 - 警告 |
| | | | 4 - デバッグ 情報(大量の情報が出力され |
| | | | ます) |
| LogFileSize | × | 1024 | ログファイルの最大サイズ(MB 単位)を設定 |
| | | ※コメントアウトされています。 | してください。 |
| | | | 0 - 自動ログローテーション無効 |
| | | | 範囲[0-1024] |
| JaLogFile | × | /var/log/jobarranger/jobarg_server.log | サーバのログファイルの保管場所/ファイル |
| | | | 名を設定してください。 |
| JaPidFile | × | /var/run/jobarranger/jobarg_server.pid | サーバの Pid ファイルの保管場所/ファイル |
| | | | 名を設定してください。 |
| JaSelfmonInterval | × | 1 (秒) | 他のプロセス(jaloader 等)の監視をするプ |
| | | ※コメントアウトされています。 | ロセス(jaselfmon)のポーリング間隔。 |
| JaLoaderInterval | × | 1 (秒) | スケジュールに登録されたカレンダーと起 |
| | | ※コメントアウトされています。 | 動時刻を元に、ジョブネットとジョブフロー |
| | | | の実行管理情報をDBに事前展開するプロセ |
| | | - | ス(jaloader)のポーリング間隔。 |
| JaBootInterval | × | 1 (秒) | ジョブネットのステータス更新や終了した |
| | | ※コメントアウトされています。 | ジョブネット情報の削除を行うプロセス |
| | | - | (jaboot)のポーリング間隔。 |
| JaJobnetInterval | × | 1 (秒) | ジョブネットの開始実行や終了ステータス |
| | | ※コメントアウトされています。 | を判定するプロセス(jajobnet)のポーリン |
| | | | グ間隔。 |
| JaJobInterval | × | 1 (秒) | ジョブの強制停止やタイムアウト監視を行 |
| | | ※コメントアウトされています。 | うプロセス(jajob)のポーリング間隔。 |
| JaJobTimeout | × | 30 (回) | ジョブのタイムアウトチェックを行う間隔 |
| | | ※コメントアウトされています。 | JaJobTimeout*JaJobInterval 秒でチェッ |
| | | | クする。 |



大和総研ビジネス・イノベーション

| JaRunInterval | × | 1 (秒) | ジョブの実行を行うプロセス(jarun)のポー |
|---------------------|-------|--|---|
| | | ※コメントアウトされています。 | リング間隔。 |
| JaStartTrappers | × | 5 | trapper のインスタンス数を設定してくだ |
| | | ※コメントアウトされています。 | さい。 |
| JaTrapperListenPort | × | 10061 | エージェントからの結果を受信するプロセ |
| | | ※コメントアウトされています。 | ス(jatrapper)のポート番号。 |
| JaAgentListenPort | × | 10055 | ジョブエージェントのポート番号。 |
| | 1 | ※コメントアウトされています。 | |
| JaExtjobPath(%1) | 0 | /usr/local/etc/jobarranger/extendedjo | ユーザコマンドを実行するエージェント内 |
| | | b | 部コマンド(Jobarg_command)が存在す |
| | | | るディレクトリを指定してください。 |
| | | | ※ユーザコマンドとは拡張ジョブアイコン |
| | | | にて設定された実行コマンドを指します。 |
| JaErrorCmdPath | 0 | /usr/local/etc/jobarranger/alert | エラー発生時、ジョブサーバに実行させたい |
| | | | コマンドが置かれているパスを指定してく |
| | | | ださい。通常は以下を指定してください。 |
| | | | /usr/local/etc/jobarranger/alert |
| JaLogMessageFile | 0 | /usr/local/etc/jobarranger/locale/logm | 以下を指定してください。 |
| | | essage_32BIT.txt | (32bit 版) |
| | | | /usr/local/etc/jobarranger/locale/logme |
| | | | ssage_32BIT.txt |
| | | | (64bit 版) |
| | - | | /usr/local/etc/jobarranger/locale/logme |
| | | | ssage_64BIT.txt |
| JaMessageFile | 0 | /usr/local/etc/jobarranger/locale/jame | 以下を指定してください。 |
| | | ssage_ja_JP_UTF-8.txt | (日本語版) |
| | l | | /usr/local/etc/jobarranger/locale/james |
| | | | sage_ja_JP_UTF-8.txt |
| | | | (英語版) |
| | | | /usr/local/etc/jobarranger/locale/james |
| | | | sage_en.txt |
| JaFcopyTimeout | × | 180(秒) | ファイル転送時の通信タイムアウト値を設 |
| | l | ※コメントアウトされています。 | 定してください。 |
| | | | 範囲[1-3600] |
| JaZabbixVersion | × | 1(zabbix 1.8 系) | Zabbix のバージョンを指定してください。 |
| | | | 1: zabbix 1.8 系 |
| | | | 2: zabbix 2.0 系 |





(※1)[注意!!]

Zabbix への通知機能を有効化するために、Zabbix_sender コマンドをここに配置してください。



4.1.3 自動起動設定

jobarg-serverのサービス自動起動設定を行います。 ※RPM でインストールを行った場合は①は対応不要です。

1. 起動スクリプトのコピーを行います。

cp misc/init.d/<OS 名>/jobarg-server /etc/init.d/ # chmod 755 /etc/init.d/jobarg-server

2. /etc/init.d/jobarg-server の編集を行います。

JOBARG=/usr/sbin/jobarg_server CONF=/etc/jobarranger/jobarg_server.conf PIDFILE= /var/run/jobarranger/jobarg_server.pid

3. jobarg-server を起動させます。

/etc/init.d/jobarg-server start

4. 自動起動設定を行います。

chkconfig jobarg-server on



4.1.4 jasender.sh の設定

「jasender.sh」は Job Arranger から Zabbix にメッセージを通知したい場合に利用されます。Job Arranger でジョ ブの異常終了を検知した際や、Job Arranger 内でエラーが発生した際に、ジョブサーバが「jasender.sh」を実行し、 Zabbix ヘエラー通知を行います。これにより、Zabbix のトリガ画面やイベント画面に Job Arranger で発生したエ ラー内容を表示させたり、発生したエラーに応じて適切なアクションを設定することができます。

「jasender.sh」は初期インストール時に/usr/local/etc/jobarranger/alert/jasender.sh に配置されます。このシェ ルは内部で変数定義をしており、各環境に合わせて設定する必要があります。設定対象となるパラメータは[表 4-3 jasender.sh パラメーター覧]を参照下さい。

jasender.sh は、内部で Zabbix の機能の一部である「zabbix_sender」コマンドを呼び出しております。そのため 「zabbix_sender」コマンドを「jasender.sh」からアクセスできる場所に配置しておく必要があります(表 4-1(※1) 参照)。また、Zabbix にて jasender 通知用の Items と Trigger を作成しておく必要があります。

※Zabbixの Items, Triggerの登録方法については Zabbixのマニュアルを参照下さい。

■実行コマンド(jasender.sh)

```
#./ jasender.sh [ユーザ ID] [ジョブネット ID] [現在時刻] [メッセージ ID] [重要度] [メッセージ本文]
```

※ジョブサーバから実行される際に、引数はジョブサーバが自動で設定します。

■Zabbix に送信されるメッセージ

[<現在時刻>] [<重要度(INFO/CRIT/ERROR/WORN)>] [MID=<メッセージ ID>] <メッセージ本文> (UID=< ユーザ ID>,JID=<ジョブネット ID>)]

表 4-2 jasender.sh 引数一覧

| 引数名 | 説明 | |
|-----------|---|--|
| ユーザ ID | エラーが発生したジョブネットの作成ユーザーID を示します。 | |
| ジョブネット ID | エラーが発生したジョブネット ID を示します。 | |
| 現在時刻 | コマンド実行時の現在時刻(YYYY/MM/DD HH:MM:SS)を示します。 | |
| メッセージ ID | メッセージ ID を示します。 | |
| 重要度 | メッセージの重要度を示します。 | |
| | 0 - INFO 1 - CRIT 2 - ERROR 3 – WARN | |
| メッセージ本文 | メッセージ ID に対応するメッセージ本文を示します。 | |



表 4-3 jasender.sh パラメーター覧

| パラメータ | , 説明 |
|---------------|---|
| ZABBIX_SERVER | Zabbix サーバの IP アドレスを設定してください。 |
| ZABBIX_PORT | Zabbix サーバのポート番号を設定してください。 |
| ZABBIX_SENDER | zabbix_sender が格納されているパスを設定してください。 |
| KEY | Zabbix 上で登録されている Items で設定した key を設定してください。 |
| HOST | Zabbix 上で登録されているエージェントのホスト名を設定してください。 |

表 4-4 Zabbix Items パラメーター覧

| パラメータ | |
|----------|---------------------------------------|
| ホスト | Zabbix 上で登録されているエージェントのホスト名を設定してください。 |
| タイプ | 「Zabbix トラッパー」を設定してください。 |
| +- | 任意のキー名を設定してください。 |
| データ型 | 「テキスト」を設定してください。 |
| ヒストリ保存期間 | 任意の保存期間を設定してください。 |
| ステータス | 「有効」を設定してください。 |

表 4-5 Zabbix Trigger パラメーター覧

| パラメータ | |
|--------|---|
| 名前 | ↓任意のトリガー名を設定してください。(Job Arranger から送付されるメッセージ |
| | 本文をそのまま Zabbix の画面に表示させたい場合は{ITEM.VALUE}を設定しま |
| | す) |
| 条件式 | {<ホスト名>:<キー名>.str([<重要度>])}=1 |
| イベント生成 | 任意のイベント生成を設定してください。 |
| 深刻度 | 任意の深刻度を設定してください。 |





4.2 ジョブエージェント(UNIX版)

4.2.1 jobarg_agentd.confの設定

/etc/jobarranger/jobarg_agentd.confを環境に合わせて設定をします。

「Include」の設定を行うことで、zabbix_agentd.conf で設定しているパラメータを jobarg_agentd.conf で使用することができます。必要に応じて、パラメータの追加や上書きを行ってください。

| パラメータ | 必須 | 初期値 | 説明 |
|-----------|--------|--------------------------|-------------------------------|
| Include | × | ※コメントアウトされています。 | zabbix_agentd.conf を指定してください。 |
| | | | これを指定することにより、 |
| | 1 | | zabbix_agentd.conf の情報を取り込み |
| | | | jobarg-agentd.conf で使用することが出来 |
| | | | ます。 |
| TmpDir | 0 | /var/tmp/jobarranger | ジョブアイコンの出力一時ファイル(実行コ |
| | | | マンドファイルや標準出力ファイル等)を格 |
| | | | 納するテンポラリディレクトリの場所を設 |
| | i I | | 定してください。 |
| Server | × | 127.0.0.1 | ジョブサーバの IP アドレスを設定してくだ |
| | I I | | さい。 |
| Hostname | × | 「hostname」コマンドで出力されるホスト名 | Zabbix に登録されているエージェントのホ |
| | | ※コメントアウトされています。 | スト名を設定してください。 |
| AllowRoot | × | 0 | エージェントをスーパーユーザー権限で動 |
| | 1 | | 作させることができます。 |
| | | | 0 - 許可しない |
| | | | 1 - 許可する |
| ListenIP | × | 0.0.0.0 | エージェントが listen する IP アドレスをカ |
| | | ※コメントアウトされています。 | ンマ区切りで設定してください。 |
| Timeout | × | 3 (秒) | 処理がタイムアウトになる秒数を設定して |
| | l l | ※コメントアウトされています。 | ください。 |
| | | | 範囲[1-30] |

表 4-6 jobarg_agentd.conf パラメーター覧



大和総研ビジネス・イノベーション

| DebugLevel | × | 3 | デバックの出力レベルを設定してください。 |
|----------------|-----|--|---------------------------|
| | | | 0 - 出力なし |
| | 1 | | 1 - クリティカル情報 |
| | 1 1 | | 2 - エラー情報 |
| | | | 3 - 警告 |
| | 1 | | 4 - デバッグ 情報(大量の情報が出力され |
| | | | ます) |
| LogFileSize | × | 1 | ログファイルの最大サイズ(MB単位)を設定 |
| | i i | | してください。 |
| | 1 1 | | 0 - 自動ログローテーション無効 |
| | | | 範囲[0-1024] |
| JaLogFile | × | /var/log/jobarranger/jobarg_agentd.log | エージェントのログファイルの保管場所/フ |
| | | | ァイル名を設定してください。 |
| JaPidFile | × | /var/run/jobarranger/jobarg_agentd.pid | エージェントの Pid ファイルの保管場所/フ |
| | | ※コメントアウトされています。 | ァイル名を設定してください。 |
| JaServerPort | × | 10061 | ジョブサーバのポート番号 |
| JaListenPort | × | 10055 | エージェントが、サーバーとの接続に使用す |
| | 1 1 | | るポートを設定してください。(※) |
| JaSendRetry | × | 30 | ジョブサーバへのデータ送信エラーが発生 |
| | | | した場合のリトライ回数 |
| | : : | | 範囲[0-3600] |
| JaDatabaseFile | 0 | /var/lib/jobarranger/jobarg_agentd.db | SQLite で利用するファイル名を指定してく |
| | 1 | | ださい。 |
| JaJobHistory | × | 1 (日) | SQLite にジョブ実行情報を保存しておく期 |
| | | | 間を指定してください。 |
| | i i | | 範囲[1-365] |
| JaBackupTime | × | 24 (時間) | データベースのバックアップ取得開始時間 |
| | | | を指定してください。 |
| | | | 範囲[1-24] |
| JaExtjobPath | 0 | /usr/local/etc/jobarranger/extendedjob | ユーザーコマンドを実行するエージェント |
| | | | 内部コマンド(Jobarg_command)が存在 |
| | | | するディレクトリを指定してください。 |
| | | | ※ユーザコマンドとはジョブアイコンにて |
| | | | 設定された実行コマンドを指します。 |
| JaFcopyTimeout | × | 180(秒) | ファイル転送時の通信タイムアウト値を設 |
| | | ※コメントアウトされています。 | 定してください。 |
| | | | 範囲[1-3600] |

※デフォルトポート(10055)以外のポートを使用したい場合は以下の手順で対応してください。





- 1. jobarg_agentd.conf のポート番号指定(jaListenPort)を任意のポート番号に変更します。
- 2. Zabbix の GUI で、ジョブの実行対象となるホスト情報(ジョブエージェントのホスト情報)の設定画面にて、[マ クロ]欄に以下のポート指定を追加登録します。

| 表 | 4-7 | jaListenPort 指定時の追加設定項目 |
|---|-----|-------------------------|
|---|-----|-------------------------|

| パラメータ | 設定内容 |
|-------|----------------------------|
| マクロ | {\$JOBARRANGER_AGENT_PORT} |
| 値 | 任意のポート番号 |

4.2.2 Firewallの設定

ジョブサーバと通信を行うために、ファイアウォールの通信許可設定を行う必要があります。

/etc/sysconfig/iptables を開き、jobarg_agentd.conf の「JaListenPort」に記載されているポート番号を iptables に記載し、解放させてください。

その後、ファイアウォールを再起動させてください。

4.2.3 自動起動設定

jobarg-agentd のサービス自動起動設定を行います。 ※RPM でインストールを行った場合は①は対応不要です。

1. 起動スクリプトのコピーを行います。

cp misc/init.d/<OS名>/jobarg-agentd/etc/init.d/ # chmod 755 /etc/init.d/jobarg-agentd

2. /etc/init.d/jobarg-agentd の編集を行います。

JOBARG=/usr//sbin/jobarg_agentd CONF=/etc/jobarranger/jobarg_agentd.conf PIDFILE= /var/run/jobarranger/jobarg_agentd.pid

3. jobarg-agentd を起動させます。

/etc/init.d/jobarg-agentd start

4. 自動起動設定を行います。

chkconfig jobarg-agentd on



4.3 ジョブエージェント(Windows版)

4.3.1 jobarg_agentd.confの設定

C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Agent¥conf¥jobarg_agentd.confを環境に合わせて設定をします。 「Include」の設定を行うことで、zabbix_agentd.conf で設定しているパラメータを jobarg_agentd.conf で使用す ることができます。必要に応じて、パラメータの追加や上書きを行ってください。

| パラメータ | 必須 | 初期値 | 説明 |
|-----------|--------|---------------------------------|-------------------------------|
| Include | × | ※コメントアウトされています。 | zabbix_agentd.conf を指定してください。 |
| | | | これを指定することにより、 |
| | 1 | | zabbix_agentd.conf の情報を取り込み |
| | | | jobarg-agentd.conf で使用することが出来 |
| | I I | | ます。 |
| TmpDir | 0 | C:¥ProgramFiles¥FitechForce¥Job | エージェントが作成する一時ファイル(実行 |
| | | Arranger Agent¥temp | コマンドファイルや標準出力ファイル等)を |
| | | | 格納するテンポラリディレクトリの場所を |
| | i I | | 設定してください。 |
| Server | × | 127.0.0.1 | ジョブサーバの IP アドレスを設定してくだ |
| | | | さい。 |
| Hostname | × | 「hostname」コマンドで出力されるホスト名 | Zabbix に登録されているエージェントのホ |
| | | ※コメントアウトされています。 | スト名を設定してください。 |
| AllowRoot | × | 0 | - エージェントをスーパーユーザー権限で動 |
| | | | 作させることができます。 |
| | | | 0 - 許可しない |
| | I | | 1 - 許可する |
| ListenIP | × | 0.0.0.0 | エージェントが listen する IP アドレスをカ |
| | | ※コメントアウトされています。 | ンマ区切りで設定してください。 |
| Timeout | × | 3 (秒) | 処理がタイムアウトになる秒数を設定して |
| | 1 | ※コメントアウトされています。 | ください。 |
| | | | 範囲[1-30] |

表 4-8 jobarg_agentd.conf パラメーター覧



大和総研ビジネス・イノベーション

| DebugLevel | × | 3 | デバックの出力レベルを設定してください。 |
|----------------|---|---------------------------------------|---------------------------------|
| | | | 0 - 出力なし |
| | | | 1 - クリティカル情報 |
| | | | 2 - エラー情報 |
| | | | 3 - 警告 |
| | | | 4 - デバッグ 情報(大量の情報が出力され |
| | | | ます) |
| LogFileSize | × | 1 | ログファイルの最大サイズ(MB 単位)を設定 |
| | | | してください。 |
| | | | 0 - 自動ログローテーション無効 |
| | | | 範囲[0-1024] |
| JaLogFile | × | C:¥ProgramFiles¥FitechForce¥Job | エージェントのログファイルの保管場所/フ |
| | | Arranger Agent¥logs¥jobarg_agentd.log | ァイル名を設定してください。 |
| JaPidFile | × | ※コメントアウトされています。 | エージェントの Pid ファイルの保管場所/フ |
| | | | ァイル名を設定してください。 |
| JaServerPort | × | 10061 | ジョブサーバのポート番号 |
| JaListenPort | × | 10055 | エージェントが、サーバーとの接続に使用す |
| | | | るポートを設定してください。 |
| | | | ※デフォルトポート以外を使用したい場合 |
| | | | は Zabbix 側の設定が必要となりますので、 |
| | | | 「4.2.1 jobarg_agentd.confの設定」を参 |
| | | | 照ください。 |
| JaSendRetry | × | 30 | ジョブサーバへのデータ送信エラーが発生 |
| | | | した場合のリトライ回数 |
| | | | 範囲[0-3600] |
| JaDatabaseFile | 0 | C:¥ProgramFiles¥FitechForce¥JobArran | SQLite で利用するファイル名を指定してく |
| | | ger Agentd¥database¥jobarg_agentd.db | ださい。 |
| JaJobHistory | × | 1 (日) | SQLite にジョブ実行情報を保存しておく期 |
| | | | 間を指定してください。 |
| | | | 範囲[1-365] |
| JaBackupTime | × | 24 (時間) | データベースのバックアップ取得開始時間 |
| | | | を指定してください。 |
| | | | 範囲[1-24] |
| JaExtjobPath | 0 | C:¥ProgramFiles¥FitechForce¥Job | ユーザーコマンドを実行するエージェント |
| | | Arranger Agentd¥conf¥extendedjob | 内部コマンド(Jobarg_command)が存在 |
| | | | するディレクトリを指定してください。 |
| | | | ※ユーザコマンドとはジョブアイコンにて |
| | | | 設定された実行コマンドを指します。 |
| | | | |

pg. 34



大和総研ビジネス・イノベーション

JaFcopyTimeout

180(秒) ※コメントアウトされています。

×

ファイル転送時の通信タイムアウト値を設 定してください。 範囲[1-3600]



4.3.2 Firewallの設定

ジョブサーバと通信を行うために、Windows ファイアウォールの通信許可設定を行います。

1. $[スタ-h] \rightarrow [コンhロ-ルパネル] \rightarrow [Windows ファイアウォール] をクリックし、開きます。$

| 😺 Windows ファイアウォール 🛛 🔀 |
|---|
| 全般例外詳細設定 |
| ・ セキュリティのため、 グループ ポリシーで制御される設定があります。 |
| Windows ファイアウォールでは、承認されていないユーザーによるインターネットまたはネットワーク経由のアクセスを阻止することにより、コンピュータの保護に役立てます。 |
| ● 有効 (推奨)(①) この設定では、[例外] タブで選択されたものを除くすべての外部ソースからのこのコン ビュータへの接続をブロックします。 |
| ○ 例外を許可しない(D) 空港などのセキュリティの弱い場所で、パブリックネットワークに接続する場合に 選択してください。プログラムが Windows ファイアウォールでブロックされても、通知はされません。[例外] タブの選択は無視されます。 |
| ● 無効 (推奨されません)(E) この設定は避けてください。Windows ファイアウォールを無効にすると、このコンピュー タをウイルスや侵入者にさらす危険性が増す可能性があります。 |
| Windows ファイアウォールで、ドメインの設定を使用しています。 <u>Windows ファイアウォールのその他の詳細</u> を表示します。 |
| OK キャンセル |

図 4-1 Windows ファイアウォール設定画面



2. [例外]タブをクリックし、プログラムおよびサービス一覧を表示させます。

| 😸 Windows ファイアウォール 🔀 | | | |
|--|--|--|--|
| 全般例外詳細設定 | | | |
| 入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたプロ Windows ファイアウォールでブロックされています。例外 は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危障 | グラムおよびサービスのためのものを除き、 外として追加することにより、プログラムによって 険が増加する可能性があります。 | | |
| プログラムおよびサービス(P): | | | |
| 名前 | グループ ポリシー | | |
| ✓ File Transfer Program | いいえ | | |
| ☑ Java(TM) Platform SE binary | いいえ | | |
| MySQL55 | いいえ | | |
| ロ UPnP フレームワーク | いいえ | | |
| Windows XP 用ネットワーク診断ツール | いいえ | | |
| 🗹 zabbix | いいえ | | |
| ▼ファイルとプリンタの共有 | はい | | |
| ■ リモート アシスタンス | いいえ | | |
| ■リモート デスクトップ | はい | | |
| 「プログラムの追加(R)」 (ボートの追加(Q) (| 編集(E) 削除(D) | | |
| ✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する(N) | | | |
| 例外を許可することの危険の詳細を表示します。 | | | |
| | OK キャンセル | | |

図 4-2 登録前のプログラムおよびサービス一覧



3. [プログラムの追加]ボタンを押下し、プログラムの追加画面を表示させます。

| プログラムの追加 🔀 |
|--|
| 例外一覧に追加してプログラムとの通信を許可するには、プログラムを選択するか、一覧表示されていないものについては [参照] をクリックして検索してください プログラム(P): |
| |
| |
| Contraction of the second seco |
| TTT - A |
| |
| See the set of |
| |
| パス: C:¥Program Files¥Lhaca¥Lhaca.exe 参照(B) |
| |
| スコープの変更(C) OK キャンセル |

図 4-3 登録前のプログラムの追加画面



4. [参照]ボタンを押下し、ファイル参照画面を表示させます。

| 参照 | | | | | | ? 🔀 |
|----------------------------|--------------------|----------------------------|------------|-------|---|---------------|
| ファイルの場所型: | 😼 דר בטצי-א | | <u>~</u> (|) 🤣 🖻 | ° | |
| していていていていていた。 最近使ったファイル | | 3〕 イブ (D:) | | | | |
| び デスクトップ | | | | | | |
| ک ۲۲ ۴¥۱۶۷۲ | | | | | | |
| ער בארב אב א- דארב אב | | | | | | |
| | | | | | | |
| マイ ネットワーク | ファイル名(<u>N</u>): | | | | * | 厭(()) |
| | ファイルの種類(工): | アプリケーション (*.exe;*.com;*.ic | :d) | | * | キャンセル |

図 4-4 ファイル参照画面



5. 「C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Agent¥bin¥jobarg_agentd.exe」を選択し、[開く]ボタンを 押下します。

| 参照 | | | | | | ? 🛛 |
|--|-----------------------|-----------------------------|---|-----|-----|--------|
| ファイルの場所型: | 🚞 bin | | * | G 🦻 | ⊳ 🔁 | |
| していていていていていていていていていていています。 最近使ったファイル | Jaa jobarg_agentd.exe | | | | | |
| び デスクトップ | | | | | | |
| کې ۱۷×د+۲۶ کې | | | | | | |
| ער דא אר איז | | | | | | |
| 🧐 र्न २७२७-७ | ファイル名(N): | jobarg agentd.exe | | | ~ | 開((0) |
| | ファイルの種類(工): | アプリケーション(*.exe;*.com;*.icd) | | | ~ | ++>Ull |

図 4-5 jobarg_agentd.exe の選択



6. プログラム一覧に「jobarg_agentd.exe」が登録されていることを確認し、[OK]ボタンを押下します。

| フログラムの追加 🔀 |
|--|
| 例外一覧に追加してプログラムとの通信を許可するには、プログラムを選択するか、一覧表 示されていないものについては [参照] をクリックして検索してください プログラム(P): |
| Image: Selection of the Selection of th |
| Jaar jobarg_agentd.exe |
| <pre> 2 = b. bee 2 = like kd 4 = like kd </pre> |
| パス: C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Agen 参照(<u>B</u>) |
| スコープの変更(C) OK キャンセル |

図 4-6 登録後のプログラムの追加画面



7. プログラムおよびサービス一覧に「jobarg_agentd.exe」が登録されていることを確認し、[OK]ボタンを押下します。

| 😺 Windows ファイアウォール | | × |
|--|---|--------------|
| 全般例外詳細設定 | | |
| 入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたプロ Windows ファイアウォールでブロックされています。例り は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危り | リグラムおよびサービスのためのものを彫 外として追加することにより、プログラム 険が増加する可能性があります。 | 余き、 ふによって |
| 名前 | ガループ ポリシー | ~ |
| I File Transfer Program | ()()Ž | |
| ☑ Java(TM) Platform SE binary | いいえ | |
| ✓ jobarg_agentd.exe | いいえ | |
| MySQL55 | いいえ | |
| ロ UPnP フレームワーク | いいえ | |
| ☑ Windows XP 用ネットワーク診断ツール | いいえ | |
| Zabbix | いいえ | |
| ▼ファイルとプリンタの共有 | はい | |
| ■リモート アシスタンス | いいえ | |
| ■リモート デスカトップ | (#() | |
| プログラムの追加(R) ポートの追加(Q)) | 編集(E) 削除(D) | |
| ✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロッ 例外を許可することの危険の詳細を表示します。 | | |
| | OK * | ャンセル |

図 4-7 登録後のプログラムおよびサービス一覧



4.3.3 ジョブエージェントの起動

ジョブエージェントを起動させます。

なお、インストール直後の状態は Windows サービスに「スタートアップの種類」が「自動」の状態でサービス停止 しています。必要に応じて「スタートアップの種類」を変更してください。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Fitech Force」→「Job Arranger Agent」→「Start Arranger Agent」
 をクリックし実行する。

| 🛅 Caser A 🔹 🔹 | | | |
|--------------------|------------------------|---|------------------------------|
| 1 | | | |
| 🛬 Чал. е | | | |
| 🖬 Fitech Force 🔹 🕨 | 🛅 Job Arranger Manager | × | |
| | 🛅 Job Arranger Agent | × | Jaa Start Job Arranger Agent |
| | | | Jaa Stop Job Arranger Agent |
| | | | |

図 4-8 スタートメニュー画面

- 2. 「スタート」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」でサービスコンソールを開きます。
- 3. サービス一覧から、[Job Arranger Agent]の状態が「開始」であることを確認する。

| € サ −82 | | | | | | |
|-----------------|---------------------------------|--|---|------------|--|---|
| ファイル(シ) 陳作()(あ) | 表示(2) ヘルプ(2) | | | | | |
| + → 🔳 🗗 🗄 | 0 🗟 😰 🖬 🕨 🖷 🖚 | | | | | |
| 🎭 サービス (ローカル) | 💊 9-ሮス (ዐ-ታፉ) | | | | | |
| | Job Arranger Agent | 名約 / | 803 8091 | スタートアップの種類 | ログオン | ^ |
| | <u>サービスの停止</u> サービスの再起動 | ATV 12 | 200 ^{- 197} - 200 | 22 22 | BARANA BARANA BARANA | |
| | 1899 Provides job scheduling | Anna International | 10. B | 10 | enter Reference Reference Reference | |
| | | Sob Avranger Agent | Provi. 1996 | 810 | 0-2/4- | |
| | | A Constant of the | 200 militari 1910 - Maria | 1 | 121 | |
| | | 2 (SETCOR.) | 22. 22. | 2 | 5 Z 19 C | |
| | | A Constant A Mathematican A Mathematican A Mathematican | in an | 5 | 17. 17. | |
| | | Construction of the second sec | an en | i. | | |
| | | and the second sec | 10. MA | 72 | 17. | |
| | | The second se | 80 | 2 | | |
| | | 1000 Miles av. | 25 22 | - | 17. | |
| | | Su in | lei - | - | 1.8- | * |

図 4-9 サービス一覧画面



4.4 ジョブマネージャ

4.4.1 ODBC 設定

Job Arranger のデータベースへアクセスするために ODBC の設定を行ってください。

図 4-10 ODBC 設定画面

表 4-9 MySQL Connector/ODBC パラメーター覧 表 4-10 PostgreSQL ODBC パラメーター覧

| パラメータ | 説明 |
|------------------|---------------------|
| Data Source Name | データソース名 |
| TCP/IP Server | 接続先 DB サーバの IP アドレス |
| User | データベースのユーザ名 |
| Password | データベースのパスワード |
| Database | 接続先 DB のデータベース名 |

| パラメータ | ' 説明 |
|---------|---------------------|
| データソース名 | データソース名 |
| サーバ名 | 接続先 DB サーバの IP アドレス |
| データベース名 | 接続先 DB のデータベース名 |
| ユーザ名 | データベースのユーザ名 |
| パスワード | データベースのパスワード |



4.4.2 jobarg_manager.conf の編集

前述で作成したデータソースからジョブマネージャへのアクセスを認識させるため、DB 設定ファイルを編集します。

【対象ファイルパス】

C: ¥Program Files ¥FitechForce ¥Job Arranger Manager ¥conf

【対象ファイル】

jobarg_manager.conf

| パラメータ | 」 説明 |
|--------------------|------------------------------------|
| JobconName | ジョブコントローラ名 |
| | ※ログインの際に使用される管理上の名称となります。 |
| DBUser | データベースのユーザ名 |
| DBPassword | データベースのパスワード |
| DBSource | ODBC 設定のデータソース名 |
| DBType | データベースが Mysql の場合「0」、以外の場合「1」を設定 |
| HealthCheckFlag | 一定間隔で SQL を発行する処理フラグ |
| | 「0」:無効、「1」:有効 |
| | 設定自体は必須ですが、PostgreSQL では「1」に設定しても無 |
| | 視されます。 |
| HealthCheckInterva | 一定間隔 SQL 発行処理をする場合の間隔(分) |
| | 設定自体は必須ですが、PostgreSQL では無視されます。 |

表 4-11 jobarg_manager.conf パラメーター覧



4.4.3 ジョブマネージャ起動

デスクトップ上の[Job Arranger Manager]アイコンをダブルクリックもしくは、スタートメニューより[Job Arranger Manager]アイコンを選択し、ジョブマネージャを起動します。



図 4-11 アイコン

| 🛅 Лента. 🛅 🍓 Солтбар | | |
|----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 🖬 Fitech Force 🔹 🕨 | 🛅 Job Arranger Manager 🔸 | Jam Job Arranger Manager |
| | 🛅 Job Arranger Agent 🛛 🕨 | 📄 Job Arranger_インストールガイド |
| | | 📄 Job Arranger」操作マニュアル |
| | | |

図 4-12 スタートメニュー画面

以下のログイン画面が表示されたら、起動完了です。

| /☞ ログイン画面 | |
|--|---|
| ジョブマネージャへようこう ジョブコントローラにログ- パスワードを入力しログ- | き。 (ンするには、ジョブコントローラ名、ユーザー名、 (ンボタンを押します。 |
| ジョブコントローラ名: ユーザー: パスワード: | test |
| | ログイン キャンセル |

図 4-13 ログイン画面



5 アンインストール

本章では各コンポーネントのアンインストール方法について説明します。

5.1 ジョブサーバー(ソースコード)

ジョブサーバーのアンインストール(ソースコード)は以下の通りに行います。

1. サービスの停止を行います。

- # /etc/init.d/jobarg-server stop
- # /etc/init.d/jobarg-agent stop

2. ジョブサーバー/エージェントのアンインストールを行います。

- # cd /usr/local/src/JobArranger-*.*.*
- # make uninstall

3. テーブルの削除

■MySQL の場合

```
# cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/mysql
# cat MySQL_JA_DROP_TABLE.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>
```

■ PostgreSQL の場合

```
# cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/postgresql
# cat PostgreSQL_JA_DROP_TABLE.sql | psql -U<username> <zabbix データベース名>
```

4. スタートアップシェルの削除

cd /etc/init.d
rm -rf jobarg-server

5. ソースコードディレクトリの削除を行います。

cd /usr/local/src
rm -rf jobarranger-*.*.*



5.2 ジョブサーバー(RPM)

ジョブサーバーのアンインストール(RPM)は以下の通りに行います。

- 1. サービスの停止を行います。
 - # /etc/init.d/jobarg-server stop
 - # /etc/init.d/jobarg-agent stop
- 2. ジョブサーバー/エージェントのアンインストールを行います。
 - # cd <rpm をダウンロードしたディレクトリ> # rpm -e jobarranger-server-mysql-*.*.*-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm
- 3. テーブルの削除

■MySQL の場合

cd /usr/share/doc/jobarranger-server-mysql-*.*.*/database/mysql # cat MySQL_JA_DROP_TABLE.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データベース名>

■ PostgreSQL の場合

- # cd /usr/share/doc/jobarranger-server-postgresql-*.*.*/database/postgresql
- # cat PostgreSQL_JA_DROP_TABLE.sql | psql -U<username> <zabbix データベース名>





5.3 ジョブエージェント(UNIX版/ソースコード)

ジョブエージェント(UNIX版/ソースコード)のアンインストールは以下の通りに行います。

- # /etc/init.d/jobarg-server stop
- # /etc/init.d/jobarg-agentd stop

2. ジョブサーバー/エージェントのアンインストールを行います。

- # cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*
- # make uninstall

3. スタートアップシェルの削除

cd /etc/init.d

- # rm -rf jobarg-agentd
- 4. ソースコードディレクトリの削除を行います。

cd /usr/local/src
rm -rf jobarranger-*.*.*

※ジョブエージェントのみをアンインストールしたい場合は、インストール時に作成されたディレクトリを手動にて 削除してください。

^{1.} サービスの停止を行います。



5.4 ジョブエージェント(UNIX版/RPM)

ジョブエージェント(UNIX版/RPM)のアンインストールは以下の通りに行います。

1. サービスの停止を行います。

/etc/init.d/jobarg-server stop

/etc/init.d/jobarg-agentd stop

2. ジョブエージェントのアンインストールを行います。

cd <rpm をダウンロードしたディレクトリ>

rpm -e jobarranger-agentd-*.*.*-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm



5.5 ジョブエージェント(Windows版)

ジョブエージェント(Windows版)のアンインストールは以下の通りに行います。

- 1. 「スタート」→「コントロールパネル」-「管理ツール」-「サービス」でサービスコンソールを開きます。
- 2. サービス一覧の中から、[Job Arranger Agent]を右クリックし、「停止」をクリックします。

| \$ 9−8 2 | | | | | | | | |
|-----------------|-------------------------|--|------------------|--|-----------|-----------|--|---|
| 77-(11/2) 陳作(点) | 表示公 ヘルプビ | | | | | | | |
| + + 🖬 🛃 | | | | | | | | |
| 🎭 サービス (ローカル) | 💊 サービス (ローカル) | | | | | | | |
| | Job Arranger Agent | 名前 / | 120A 2 | 大勝 スタ | マートアップの種類 | ログオン | | ^ |
| | | A REACTION OF | 1.57. 1 | 1 11 | | 2.44 | | |
| | サービスの停止 | Sector Sec. | 201 | 1 - BR | - | 5 M L L | | |
| | 2 CONTINUES | 🚽 🙀 kalender der der der | - N | 1.00 | 8 | 248 J | | |
| | 1910 | A summaries of the second secon | | | | 21 M A | | |
| | Provides job scheduling | State State | 2.44 | - 12 | | 2.44 | | |
| | | Manufacture | | 2 II | | 225 | | |
| | | A second second | 13. B | B 10 | - | 1221 | | |
| | | Job Arraneer Aeent | Provi. | 54 A K | 6 | 0-54 | | |
| | | Street Little in | Phil. 9. | 16 M | Ĩ. | B. 544 | | |
| | | Second states | 19 Aug | | | 0.04 | | |
| | | Second states | 201 - A | 10 A 10 | | 870 A | | |
| | | No. And Address of the Address of th | Sec | | | 8. S.S. | | |
| | | Second State | 100 C | | | 1124 - L | | |
| | | A DESCRIPTION OF | 200 A | - 3 | | 500 A - 1 | | |
| | | A second s | - Carlor 19 | a = B | | 525 | | |
| | | 2.277 | an S | 2 5 | | 1.1.1. | | |
| | | Repair second | inter de | - E | | S. 5.4 | | |
| | | Antipular Security | 100 C | 1.12 | | 1.22 | | |
| | | IS Must be used. | direction in the | 1.10 | | 10.00 C | | |
| | | Specific terminal | 544 B | 64 - M | | 8 M. H | | |
| | | ni an an tao | 100 million - 1 | | | 8. S.S | | |
| | | Second contracts | Citize 11 | | | 810 A.V. | | |
| | | State of the second seco | - 10 - 10 | H 2 | | 870 A.L. | | |
| | | A state of the state | | | | E 24 - | | |
| | | Second state | Sec | - 7 | | 879 A.V. | | |
| | | The second second second | - C | 10 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I | | 870 S | | |
| | | a la farma de la companya de la comp | 55 | - 3 | | 505 - | | |
| | | Construction | 10 a 19 | ы. ў | | 11 A A | | |
| | | a 🖉 Sana Bakabat | Sec. 1 | 1.1 | | 1.1.1 | | |
| | | Sector sector | BN 7 | 6. A | | 1.11 | | |
| | | 📢 " en estilizador - | 500 - X | 6. N | | 8.84 C | | |
| | | Sec. 197 | Mile . | - 1 | | 8 Mar. | | × |
| | / 祖妹/ 儒事/ | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

図 5-1 サービス一覧画面



- 3. Installer をダブルクリックし、Job Arranger Agentd セットアップウィザードを起動します。
- 4. 「Job Arranger Agentd の削除」を選択し、「完了」ボタンを押下する。



図 5-2 Job Arranger Agentd アンインストール画面



5. アンインストールが完了しましたら、下記の画面が表示されますので、「閉じる」ボタンを押下します。



図 5-3 アンインストール完了画面



5.6 ジョブマネージャ

ジョブマネージャのアンインストールは以下の通りに行います。

- 1. Installer をダブルクリックし、Job Arranger Manager セットアップウィザードを起動します。
- 2. 「Job Arranger Manager の削除」を選択し、「完了」ボタンを押下する。

| 🛃 Job Arranger Manager | |
|--|----------------|
| Job Arranger Manager セットアップ ウィザードへようこ そ | |
| Job Arranger Manager の修復または削除のどちらかを選択してください。 | |
| ○ Job Arranger Manager の修復(R) ⊙ Job Arranger Manager の削除(M) | |
| | |
| キャンセル 〈戻る(四) | 完了(<u>F</u>) |

図 5-4 Job Arranger Manager アンインストール画面



3. アンインストールが完了しましたら、下記の画面が表示されますので、「閉じる」ボタンを押下します。



図 5-5 アンインストール完了画面



6 アップグレード

以下に JobArranger のバージョンアップに必要な手順を説明します。

6.1 バージョン 1.0.0 から 1.2.0 へのアップグレード

6.1.1 ジョブサーバ(ソースコード)

旧バージョンをソースコードからインストールした場合は以下の手順でアップグレードします。

1. サービスの停止を行います。

/etc/init.d/jobarg-server stop

- 2. データベースと設定ファイル (jobarg_server.conf) のバックアップを行います。
- 3. 前記インストール手順によりソースコードをコンパイルし、実行オブジェクト(jobarg_server)を新バージョンと置き換えます。
- 4. データベースの情報を更新します。

■MySQL の場合

```
# cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/upgrade/1.0.0-1.2.0/mysql
# cat MySQL_JA_UPGRADE_TABLE-1.0.0-1.2.0.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データ
ベース名>
```

■ PostgreSQL の場合

- # cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/upgrade/1.0.0-1.2.0/postgresql
- # cat PostgreSQL_JA_CREATE_TABLE-1.0.0-1.2.0.sql psql -U<username> <zabbix データベース名>
- 5. jobarg-server を起動させます。
 - # /etc/init.d/jobarg-server start



6.1.2 ジョブサーバ (RPM)

旧バージョンを RPM によりインストールした場合は以下の手順でアップグレードします。

1. サービスの停止を行います。

/etc/init.d/jobarg-server stop

- 2. データベースと設定ファイル (jobarg_server.conf) のバックアップを行います。
- 3. ジョブサーバーのアップグレードを行います。

cd <rpm をダウンロードしたディレクトリ> # rpm -Uvh jobarranger-server-<DB>-1.2.0-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm

4. データベースの情報を更新します。

■MySQL の場合

```
# cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/upgrade/1.0.0-1.2.0/mysql
# cat MySQL_JA_UPGRADE_TABLE-1.0.0-1.2.0.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データ
ベース名>
```

■ PostgreSQL の場合

```
# cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/upgrade/1.0.0-1.2.0/postgresql
```

cat PostgreSQL_JA_CREATE_TABLE-1.0.0-1.2.0.sql psql -U<username> <zabbix データベース名>

5. jobarg-server を起動させます。

/etc/init.d/jobarg-server start



6.1.3 ジョブエージェント(UNIX 版/ソースコード)

旧バージョンをソースコードからインストールした場合は以下の手順でアップグレードします。

1. サービスの停止を行います。

/etc/init.d/jobarg-agentd stop

- 2. 設定ファイル(jobarg_agentd.conf)をバックアップします。
- 3. 前記インストール手順によりソースコードをコンパイルし、実行オブジェクト(jobarg_agentd)を新バージョンと置き換えます。
- 4. jobarg-agentd を起動させます。

/etc/init.d/jobarg-agentd start

6.1.4 ジョブエージェント(UNIX 版/RPM)

旧バージョンを RPM によりインストールした場合は以下の手順でアップグレードします。

1. サービスの停止を行います。

/etc/init.d/jobarg-agentd stop

- 2. 設定ファイル(jobarg_agentd.conf)をバックアップします。
- 3. ジョブサーバーのアップグレードを行います。

cd <rpm をダウンロードしたディレクトリ> # rpm -Uvh jobarranger-agentd-1.2.0-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm

- 4. jobarg-agentd を起動させます。
 - # /etc/init.d/jobarg-agentd start



6.1.5 ジョブエージェント(Windows版)

Windows 版のジョブエージェントは以下の手順でアップグレードします。

- 設定ファイルをバックアップします。
 【設定ファイル】C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Agent¥conf¥jobarg_agentd.conf
- 2. 前記アンインストール手順によりジョブエージェントをアンインストールします。
- 3. 前記インストール手順によりジョブエージェントをインストールします。
- 4. インストールされた設定ファイルをバックアップした設定ファイルで置き換えます。

6.1.6 ジョブマネージャ

ジョブマネージャは以下の手順でアップグレードします。

- 設定ファイルをバックアップします。
 【設定ファイル】C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Manager¥conf¥jobarg_manager.conf
- 2. 前記アンインストール手順によりジョブマネージャをアンインストールします。
- 3. 前記インストール手順によりジョブマネージャをインストールします。
- 4. インストールされた設定ファイルをバックアップした設定ファイルで置き換えます。



6.2 バージョン 1.2.0 から 1.2.1 へのアップグレード

6.2.1 ジョブサーバ(ソースコード)

旧バージョンをソースコードからインストールした場合は以下の手順でアップグレードします。

【注意事項】

- ・バージョン 1.0.0 から 1.2.1 にアップグレードする際には、前記「6.1 バージョン 1.0.0 から 1.2.0 へのアップ グレード」に記載のデータベース情報の更新を事前に行う必要があります。
- ・本アップグレードを実施するとジョブネット実行時のジョブコントローラ変数がすべて削除されます。
 実行中のすべてのジョブネットが終了した後にアップグレードを実施してください。
- 1. サービスの停止を行います。

/etc/init.d/jobarg-server stop

- 2. データベースと設定ファイル (jobarg_server.conf) のバックアップを行います。
- 3. 前記インストール手順によりソースコードをコンパイルし、実行オブジェクト(jobarg_server)を新バージョ ンと置き換えます。
- 4. データベースの情報を更新します。

■MySQL の場合

```
# cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/upgrade/1.2.0-1.2.1/mysql
# cat MySQL_JA_UPGRADE_TABLE-1.2.0-1.2.1.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データ
ベース名>
```

■ PostgreSQL の場合

- # cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/upgrade/1.2.0-1.2.1/postgresql
- # cat PostgreSQL_JA_UPGRADE_TABLE-1.2.0-1.2.1.sql psql -U<username> <zabbix データベース名>

5. jobarg-server を起動させます。

/etc/init.d/jobarg-server start



6.2.2 ジョブサーバ (RPM)

旧バージョンを RPM によりインストールした場合は以下の手順でアップグレードします。

【注意事項】

- ・バージョン 1.0.0 から 1.2.1 にアップグレードする際には、前記「6.1 バージョン 1.0.0 から 1.2.0 へのアップ グレード」に記載のデータベース情報の更新を事前に行う必要があります。
- ・本アップグレードを実施するとジョブネット実行時のジョブコントローラ変数がすべて削除されます。
 実行中のすべてのジョブネットが終了した後にアップグレードを実施してください。
- 1. サービスの停止を行います。

/etc/init.d/jobarg-server stop

- 2. データベースと設定ファイル (jobarg_server.conf) のバックアップを行います。
- 3. ジョブサーバーのアップグレードを行います。

cd <rpm をダウンロードしたディレクトリ> # rpm -Uvh jobarranger-server-<DB>-1.2.1-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm

4. データベースの情報を更新します。

■MySQL の場合

```
# cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/upgrade/1.2.0-1.2.1/mysql
# cat MySQL_JA_UPGRADE_TABLE-1.2.0-1.2.1.sql | mysql -u<username> -p<password> <zabbix データ
ベース名>
```

■ PostgreSQL の場合

- # cd /usr/local/src/jobarranger-*.*.*/database/upgrade/1.2.0-1.2.1/postgresql
- # cat PostgreSQL_JA_UPGRADE_TABLE-1.2.0-1.2.1.sql psql -U<username> <zabbix データベース名>

5. jobarg-server を起動させます。

/etc/init.d/jobarg-server start



6.2.3 ジョブエージェント(UNIX 版/ソースコード)

旧バージョンをソースコードからインストールした場合は以下の手順でアップグレードします。

5. サービスの停止を行います。

/etc/init.d/jobarg-agentd stop

- 6. 設定ファイル(jobarg_agentd.conf)をバックアップします。
- 7. 前記インストール手順によりソースコードをコンパイルし、実行オブジェクト(jobarg_agentd)を新バージョンと置き換えます。
- 8. jobarg-agentd を起動させます。

/etc/init.d/jobarg-agentd start

6.2.4 ジョブエージェント(UNIX 版/RPM)

旧バージョンを RPM によりインストールした場合は以下の手順でアップグレードします。

5. サービスの停止を行います。

/etc/init.d/jobarg-agentd stop

- 6. 設定ファイル(jobarg_agentd.conf)をバックアップします。
- 7. ジョブサーバーのアップグレードを行います。

cd <rpm をダウンロードしたディレクトリ> # rpm -Uvh jobarranger-agentd-1.2.1-*.<各 OS 名>.<アーキテクチャ>.rpm

- 8. jobarg-agentd を起動させます。
 - # /etc/init.d/jobarg-agentd start



6.2.5 ジョブエージェント(Windows版)

Windows 版のジョブエージェントは以下の手順でアップグレードします。

- 5. 設定ファイルをバックアップします。 【設定ファイル】C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Agent¥conf¥jobarg_agentd.conf
- 6. 前記アンインストール手順によりジョブエージェントをアンインストールします。
- 7. 前記インストール手順によりジョブエージェントをインストールします。
- 8. インストールされた設定ファイルをバックアップした設定ファイルで置き換えます。

6.2.6 ジョブマネージャ

ジョブマネージャは以下の手順でアップグレードします。

- 設定ファイルをバックアップします。
 【設定ファイル】C:¥Program Files¥FitechForce¥Job Arranger Manager¥conf¥jobarg_manager.conf
- 6. 前記アンインストール手順によりジョブマネージャをアンインストールします。
- 7. 前記インストール手順によりジョブマネージャをインストールします。
- 8. インストールされた設定ファイルをバックアップした設定ファイルで置き換えます。